

# 焼けつく日差しの中今年も精一杯

# 里地区コミュニティ協だより

里地区  
コミュニティ協議会  
事務局 3-2958

VOL・137-1

八月十三日（日）お盆の初日。恒例の夏祭りや

かずらたて（菌上）が開催されました。

早朝からかずらを採り、まいけ方を済ませ、午後一時にしのべたを出発しました。プープラの掛け声で、踊り出す子どもたち。最高気温が、三十二度を超えるなかでの開催でした。夜の歌謡ショーや、花火大会も、豪華な光と音の饗宴でした。



出店も多く、あちこち行列で賑わい、夏らしいゆかた姿の親子づれなど、若い人たちの姿もたくさんみかけました。



8月11日（金）さっくら踊りが、菌上「香福寺」と村西「西願寺」の境内で行われました。保存会メンバーとして活動されていた物故者4名の慰霊をも兼ねた踊りでした。

みんなが頑張っている夏。

里の素晴らしさが輝く夏です。

熱中症には気をつけて、残者お見舞い申しあげます。

## 地域では、こんなこともありました

7月30日（日）里公民館多目的ホールで、「ごったん祭り」が開かれ、下甕島長浜の伝統芸能「出羽踊り」も披露されました。力強い制御力が必要とする踊りで、上甕島のごったん部による生演奏との素晴らしい交流でした。

8月1日（土）防犯親子球技大会

8月9日（土）20日（日）

【アート・バカンス】

アーティストたちが、夏の休暇を楽しみながら甕島に滞在し、日頃から制作している作品の展覧会をするプランで、今年は、上甕観光センターで、展示されました。

里町出身の平嶺林太郎さんなど実行委員会を取り組まれました。地域おこし協力隊の純浦彩さん（東京芸術大学院卒）の彫刻も展示され、この催しを観るために企画された観光ツアー客のなかには、香港からのお客様もおられました。

第十回離島甲子園の大会（石垣島で開催）に、二十日（日）甕島の子どもたちが出発しました。